

「蚊をして山を負わしむ」とは、中国の諺で、微力な者に重責を負わせることを言います。この度、高月地域づくり協議会をお預かりすることとなりましたが、私は力のない「蚊」です。当協議会も創設五年目を迎え、今や地域住民の中にその存在意義が浸透してきましたことは、この間の種々の活動実績によるものであり、重責をひしひしと痛感しています。

革合併による大きな変化に向かい合いながらも、過去の伝統や様式を大切にし「観音さまに守られ、お守りしている」といって、う深い慈悲の心を今までに脈々と受け継いでいる。地域特有の素晴らしい一面です。この力を結集して、高月地域づくり協議会は「相変わらず」の進展をしながら、若者の地域離れや人口の遞減に伴う疲弊感を払拭させる活動策をはじめ、高齢社会への適切な対応や教育の振興、文化創造、そして中学校跡地の活用問題など、多くの喫緊かつ重大な地域課題への取り組みが求め

らっています。また今なお形の見えない北部振興策に対してもリーダー的役割を發揮する。そのためには、地域住民のつながりを強め、思いの集約を推進することが大事です。そして、当協議会の使命であります「地域課題を踏まえ、共助・協働により、未来に希望と活力をもたらし、誰もが安心して住み続けたい」と思える地域づくり」を目指したいと思います。皆様のご要請に応え、精一杯の努力をします。ご理解とご協力を賜り、どうぞ格段の理解とご協力を賜りますようお願い申上げます。

新会長就任挨拶

「相変わらず」の進展を目指して

高月地域づくり協議会
会長 西坂 重和

たかつき 地域力

第25号

《発行》
高月地域づくり協議会
広報研修委員会
委員長 友田 昭夫

《事務局》
月 公 民 館
(0749) 85-5204
(0749) 85-5744

高月地域のようす
 (平成27年7月1日現在)

	人口
男	4,944人
女	5,069人
合計	10,013人
	世帯数
	3,294世帯

高月地域づくり協議会 役員体制			
会長	西坂重和	総括	雨森
副会長	武藤繁一	会長補佐	柳野中
	武田雅博		宇根
会計	中川定次	会計管理	唐川
理事	嶋津正男	自治会部会	高月
	岩崎昌司		尾山
	中川孝博		西野
	片山源之		西物部
	山岡健一	健康福祉部	西阿閉
	井上三子男		柳野中
	山岡孝明	安全環境部	東阿閉
	岡島義孝		井口
	野瀬謙治	教・文・ス部会	唐川
	藤森了堅		落川
	那須康也	地域振興部	高月
	大橋英一		雨森
	友田昭夫	広報研修委員会	雨森
	中川顕		高月
監事	藤澤賢肇	会計等監査	宇根
	供田恵子		柏原
	山田善晴		西野
顧問	大橋通伸	相談役	雨森
	浅見勝也		高月
	森田義人		横山
	中川亮		高月
	村井弘		高月
事務局	山仲秀雄	総務事務	保延寺

高月地域づくり協議会

5年目の活動 を始めました

政機構が地域づくり協議会活動共通化は高月地域内の公教育、地域振興まで幅広い活動を行ってきました。地域の過疎や高齢化は年々進み、自治団体などの活動で地域への期待は、子供から、地域への期待は、子どもや高齢者の見守り、災害発生時の支援など、人々の生活のあらゆる場面で高まる一方だ。これまでの協議会設立から五年間の実績も新たに、今年度は新たに事業に取り組む生じる課題へも取り組むこととするとともに、これまでの四年間に引き継ぐこととをもとに、新たな四年間の実績をもたらすことができるよう、地域活性化のための地域づくりをめざしてまいります。

など「地域にへお互
いさんで>がゆきか
う“あつたかつきな
まち”」をきずくた
め五年目の活動が始
まつてある。

- 各部会の主な事業
 - [自治会部会]
 - ・地域課題改善要望活動
 - [健康福祉部会]
 - ・サロン活動の会議
 - ・ウォーキング大会
 - [安全環境部会]
 - ・小学校通学路点検
 - ・地域防災研修会
 - [教育文化スポーツ部会]
 - ・中学生学習支援
 - ・地域寺子屋活動
 - ・放課後児童クラブ
 - [地域振興部会]
 - ・新たな観光企画会議
 - ・若者のまちづくり
 - [広報研修委員会]
 - ・地域力の発行

七四推現のでなは
人六定在、發すりい認
に二認、表が、まら知
一万知六に厚れ症なと
人入症五より生三社関
だを患歳以勞年会係
そ超者以勞年会係
うえ、数上省前で
で、が

認知症社会に生きる地域づくり きんもくせいりーだー 富田 東作

○す。万十年となりには五人に○

知ラバ
ですか。
増え続
け存

十です。
人余り

され認
たえ
ボル
目的
患者
テで
イ設
ア立
域

発小
活動中
を学
続校
き会
地七
参が
けな
サ域
年加
自治
てど
ロい
の前
し主
いで
ンき
老か
的で
ま啓

老頂会参年て会です。
人いで加層おの行
会てもしまり講わ近
やい熱てで師れ年
さま心小多老にる
口すにさく人要人
ン。学なか請權自
へまん自方らさ学
のたで治が青れ習

尋支おだす出
ね所問申さの前
く地い込いで講
だ域合み申もい
さ振せなど詳
い興はど課へ
お月詳しきま

飲み会・麻雀・囲碁・将棋 自治会公民館で カフェを開こう！ 健康教室 安否確認・家事援助 コミバス観音号で買物へ行こう！ 脳トレ教室

※生活支援サービスとは
地域社会には様々な生活困難を抱えている人々がいる。生活上の困難は、経済の構造的な変化の影響もあるが、家族や地域の脆弱化、つながりの変化や問題解決力の低下のなかで生じている。介護保険制度の公的サービスだけでなく、人々のつながりを尊重したサービス、個別ニーズに即した柔軟なサービスを市民参加による多様な主体で提供することを生活支援サービスと称している。

動よ護必ま取な認トかる齢つま
をう度要た組が知レらた者まだ高
地にがに、みる症な転めで進齢
域り上な介が介のど、倒に生もみ社
でハがっ護大護予、予は活元ま会
励ビらて支切予防介防、し気すは
まりなも援で防に護や日続な。ま
し活い介がすのつや脳頑け高いだ

②介護予防活動



うと合
もつ
めて
ざ取
しり
ま組
しむ
よこ

こんな サロンに しませんか



④趣味・娯楽活動

め己つづ娯ないに麻ででえ
ざを、けて樂うで興雀飲しが
し高、いでちじやみよち
まめまきつかよる団会う。な
しるだがならう。こ暮を
よこまいが趣。と・す男と
う。とだをり味元も將る、同か
う。を自見あや氣い棋

れる合き少ロ地も傭仲や、| 応な外活
て「い近るしん域あ樂間、ビえど出
いの生・隣こ充活へわのに元スら個支
提活支のと実動自せ生な氣をれ別援
供支え自のさを治てきれな加るの
が援合然よせ見会行がる高え柔ニ家
求さいなうれ直うい趣齡る軟一事
めに助だばし、のな活味者こなズ援
らビよけで

れス「「い近るしん域あ樂間、ビえど出
いの生・隣こ充活へわのに元スら個支
提活支のと実動自せ生な氣をれ別援
供支え自のさを治てきれな加るの
が援合然よせ見会行がる高え柔ニ家
求さいなうれ直うい趣齡る軟一事
めに助だばし、のな活味者こなズ援
らビよけで

をかを提生のれ会みすれよ介
活動のれ多でそて取者こ進ら平供活日
にいてくはんいりののめ始成す支常よでれて高要保た、
きいのななる組一総てめニ「暮たの齢支険
介いる自いにみつ合いる十総「暮たの齢支険
護き高治難とがに事るよ八合一を域齢もに度浜
事予サ齡会こしい期自業う年事ビ支高続へ者含認改市
めに助だばし、のな活味者こなズ援
防口者でれいつ待治の準四業え齡け自がめ定正で
らビよけで

なたをりにれ館ば、動みる者にン
サお読が友、がで会食に、活
ロ茶めで達利い自すを事年
のたきと用つ治が主会齡ニは、ま
活間りたお者も会、とや制
動のとりしが開のですお限
がよい、や自放公きる樂の対やサ
望うう本ベ由さ民れ活しあ
週口

①お茶の間活動



しづ利にてなばま
よく用み、どおれ
うりでん力の茶、ま
をきなフ提
めるがエ供コ
ざ居気のも
し場輕よあヒ
きれま所にうつ

きと男齢こ少へ
となよ性層れなは
をこりはがはい男れ
しとも敬高利よ性
またや自老い用うの
い得ら的こ者で參
と意がなとのす加口
考な好こと年。がん



③助け合い活動

をらま伝のがく物くのま
めせでいなたち家なさな交た、
ざるもをでめにでるえり通
しま安し生にな閉よも日手外
まち心て活周るじうで常段出
しづしの団高こでき品もの
よくていおの齢もすに乏た
うり暮つ手み者りく買しめ

介護保険制度改革による 高齢者の日常生活を支える「生活支援サービス」の提供のために 高齢者向けいきいき

サロン活動の見直し必要

るれ介齢れやよののいこがを今度
な護者あ地つな介る。ビヘ必日が今
い保がい域とい護。がスル要で始年
サ険求たのし家に一当利一す多つ介
ビはてな友お内直でと用やるくて護
ス適いど達手外接なさデ高の十保
も用てと伝の関本つれい齢介五險
あさも高ふいち係人てるサ者護年制

— 地域のサロン活動を充実させるために必要なこと —

1. サロン利用者の年齢制限を取り外そう！

高月地域では、現在25自治会で27サロンが活動しています。でも、そのほとんどは年齢80歳以上の人を対象者に敬老会的な活動をしていることから、サロンは「体の弱った人が行くところ」というイメージができあがってきました。

これからのサロン活動には元気な高齢者もいきがいづくりや健康維持の場所として、気軽に参加できるようにしましょう。

2. 元気な高齢者は生活支援サービスの担い手になろう！

高齢社会は、地域に元気な高齢者がたくさん暮らしているということです。この高齢者がいつまで元気で暮らし続けられるためには健康はもちろんですが、社会の中で一人一人に役割があって、周りから期待されていると感じられることが大切です。

地域のサロンで色々な生活支援サービスを提供するためには、元気な高齢者がサービスの担い手として活躍し、自らの生きがいや介護予防にもつなげましょう。

3. サロン活動は自治会内のネットワークで取り組もう！

高齢者が住み慣れた地域（自治会）で暮らし続けられることは何よりも幸せです。この幸せの実現のために社会福祉協議会や地域包括支援センターなど公的サービスの提供もありますが、この公的サービスと協働しながらいちばん身近な地域が生活支援サービスを提供することで地域の安心をつくりだすことができます。

自治会内にある老人クラブ、女性組織などがネットワークして多様なニーズに対応できる安定したサロン活動に取り組みましょう。

4. 公的助成と利用者負担で持続可能なサロン活動を！

サロン活動を地域に定着させ、安定したサービスを提供するためにはスタッフの確保とともにサロンを維持する財源が必要です。この財源には、地区社協からのサロン活動補助金がありますが、サロン活動に介護予防プログラムを加えることで介護保険制度からの財源支援も受けられます。あわせて利用者からの料金徴収を制度化することが安定したサービスの提供を持続されることになるでしょう。

また、スタッフには報酬の代わりに将来サービスを受ける側になった時に使えるポイント制を導入することもスタッフ確保に役立つでしょう。

人びとが 集い 学び つながる 公民館

高月公民館からお知らせ

皆となトカリ島さでのは演汚心かいの材用物材部会武はを害氏賀講域一 演か中計け年
さしどにらア警さんの人 す染をらる研料い理工大。田十学にを市演防日先会けか画の者度高
ん穴ネよーと察ん講幸權十るに持 研究た学学学武邦月ぶ対招の 災にずをてらし講まも月
ぜにツるイ子官は演嶋の一 つつ誰そを環原的が教田彦十。すい松講研開は紹開て座で子公
ひつトイニ育で元会美つ月三い放もの行境子手專授氏氏八二るて森師修催 介催夏いやのど民
ごい社じタてそ警 智ど一つて射が立つな力法門では講日つ備風和に会予ハすさかる講各も館
聴て会めーの視幸子い日目講能関場てど を 資中演の目え水人敦の定月るれら 演世かで
講語の問ネ經キ を。落題ツ驗ヤ 夏から秋の三講演会をご案内

人気番組「ホンマでっか！TV」(フジテレビ)
のコメンテーターでお馴染みの

武田邦彦氏講演会

講演テーマ

今、わたしたちに
できること
～放射能汚染・
子どもと家族、
心配するだけでは
守れない～



■プロフィール
昭和11年生まれ。慶應義塾大学医学部医学科卒業後、理学、中央大学教育、東洋経営研究所工学、栄養学の専門を取り、原子炉、財政、医療などの研究など、幅広い分野で活動を行っている。

■日時
平成27年10月18日(日)
午後1時30分～(午後1時退場)

■会場
高月公民館大ホール
高崎市高月町園町141-1

■入場整理券
一人一枚 1,000円(前売り)
定員200名様
8月4日から高月公民館事務室にて販売開始

多数の方々のご来場をお待ちしております。

主催：高月公民館・高月地域づくり協議会・高月文化協会

詳しく述べは、高月公民館事務室(049-65-52001)へお問い合わせください。

編集後記

のりこ十でら戦るる民よがさ
だをな年はれ争がたのう審ら
。持か間なるにめ生と議にるい念爆広迎
ちつ いこよ結必命しさ安月て日の島え今
続た戦かとる局要とてれ全だ想と日。た。年
けこ争は平のと財い成保。い平、長も
たとを戦な和と言産る立障今を和終崎八
いのし後いはこわを。さ法年馳に戦の月
も誇て七の得ろれ守国れ案はせつ記原はを

秋のあつつき祭り、10月31日から4日間

31日(土) 1日(日) 2日(月) 3日(火)

作品展示	作品展示	作品展示	作品展示
ステージ発表	こどもお楽しみ祭		
子どもC広場	人権講演会		
秋の感謝祭	秋の感謝祭		G玉入れ大会

あ月
つに今
て計のイ集月四祭たは年
い画予ンい文一りか
る。さ定にを化回がつ秋十
れで次メの高第きの一

地域防災研修会

このたび、あなたは地域と自分のかなづれですか
一層水害から命を守るために

地域組織化の観点に上るかがどうしようか、沿岸、全般各地で過去に経験したことのない集中豪雨で、人命を危険に及ぼす可能性があることを防ぐため、その対応策を実現するため、本研修会を開催いたします。

主な研修内容は、防災組織の運営や、避難訓練の実施方法などを学ぶことで、より効率的な避難訓練を実現するための知識を身につけることを目的としています。

日 時：平成27年8月21日(土)
夜 7時30分から

場 所：高月公民館 大ホール

主 催：高月
高月地域づくり協議会・高月公民館

講 師	内 容	時 間	場 所
松 隆 和 人 氏	防災組織の運営と避難訓練	7時30分～	高月公民館 大ホール

高月地域人権のつどい

高月地域人権のつどい
高月地域人権のつどい
高月地域人権のつどい

主 催：高月地域人権委員会
高月地域人権委員会
高月地域人権委員会

■日時 11月1日(日曜日)
pm1:30～(高月公民館)

■会場 高月公民館 大ホール
一人座敷四人

主 催：高月地域人権委員会推進協議会・
高月文化協会・高月地域づくり協議会・高月公民館

詳しく述べは、高月公民館事務室(049-65-52001)へお問い合わせください。